

## F-27 非行少女の親子関係について

比治山女短大 下東 艶子

1. 非行のため、現在、女子少年院に収容されている生徒は、以前、家庭においてどんな親子関係のもとに養育されていたかを知り、普通児の親子関係と比較して、その相違を見出し、非行の要因の一端を親子関係から検討したい。

2. 品川不二郎著、田研式親子関係診断テストにより、三少女苑の実態調査を行なった。父母(実、継)を有する生徒、約100名が対象である。有効回答数は90であった。

3. 親の養育態度(拒否、支配、保護、服従、矛盾、不一致)をさらに10の型に分けて診断したが、その特徴として挙げられるものに次の点がある。即ち、

(1) 平均値からみて、拒否、厳格、不一致の態度の評価は30(パーセントイル)で準危険地帯にある。矛盾、溺愛の態度は40で普通以下。

(2)個人差がひどく，平均 70 パーセンタイル(良好)から 20 パーセンタイル(危険)までその差のひらきが大きい。

(3)個人的に各タイプ別に診断した場合，タイプ別評価の差が大きく，最高 99 パーセンタイルから最低 0 パーセンタイルまである者もあり，不調和，不均衡な親の態度が顕著である。